

Pro-LITE® 2.0 / 3.0
Pro-LITE® 2.0 / 3.0 DSP
パワーアンプ
オーナーズマニュアル



Pro-LITE® 2.0 / 3.0 パワーアンプ

Pro-LITE®パワーアンプをお買い上げいただきありがとうございます。このパワーアンプは、厳しい使用条件でも長期間正常な動作と信頼性を保つよう設計されています。先進設計を採用した画期的Pro-LITEシリーズにより、Crest®エンジニアは、出力、信頼性、熱効率を高めながら、重量を大幅に減らすことができます。Pro-LITEシリーズアンプは、レゾナントスイッチモード電源とクラスD高速トポロジの設計により、音響解像度と効率を最大にしています。きわめて効率の良い軽量設計のこの革新的なアンプから得られるのは、Crest®の代名詞でもある音響優位性および比べるものがない信頼性です。先進技術と充実した保護回路により、負荷や電力を扱いにくい困難な条件下でも動作効率を高めています。ACL™ (Automatic Clip Limiting、自動クリップ制限) 回路は、2 オームと低い負荷までトラブルフリー動作を保証します。ACLは、負荷が極端に大きい条件下でも、ドライバを保護し、音響整合性を保ちます。Pro-LITEの高効率設計により、かなり低い温度でも動作し、冷却のため大型のヒートシンクを必要としません。安全のため、入力、出力、電源系統の接続のセクションのほか、重要な注意事項もお読みください。

Pro-LITE®アンプは、動作がシンプルで、シャーシは頑丈かつ軽量ですが、使用方法を誤ると危険を招くこともあります。このアンプは、出力が非常に大きく、最大周波数50 kHzの高電圧、かなり大きい電流を発生します。このアンプを操作するときは常に安全な操作を心がけてください。

アンプに信号を送る前に、本製品のAC電源電圧が正しいか確認することは非常に重要です。アンプの適正電圧は、本体リアパネルにあるIECライン (電源) コードの横に記載してあります。製品の各機能に番号が付いています。番号の横の機能については、このマニュアルのフロントパネル図を参照してください。



アンプの安全および人身の安全を守るため、本書をよくお読みください。

Pro-LITE® の特長:

- 2チャンネル独立クロスオーバー
- ACL™ (Automatic Clip Limiting) プロテクト
- 画期的Pro-LITE® クラスDトポロジ
- デレントタイプ入力コントロール
- XLR 1/4"コンビネーション入力
- 4極ツイストロック出力コネクタ
- 超軽量



換気: 換気をよくするため、可燃物表面から12" (30cm以上)スペースを空けてください。本体内部の空気の流れを妨げないため、通気/換気口をふさがらないでください。



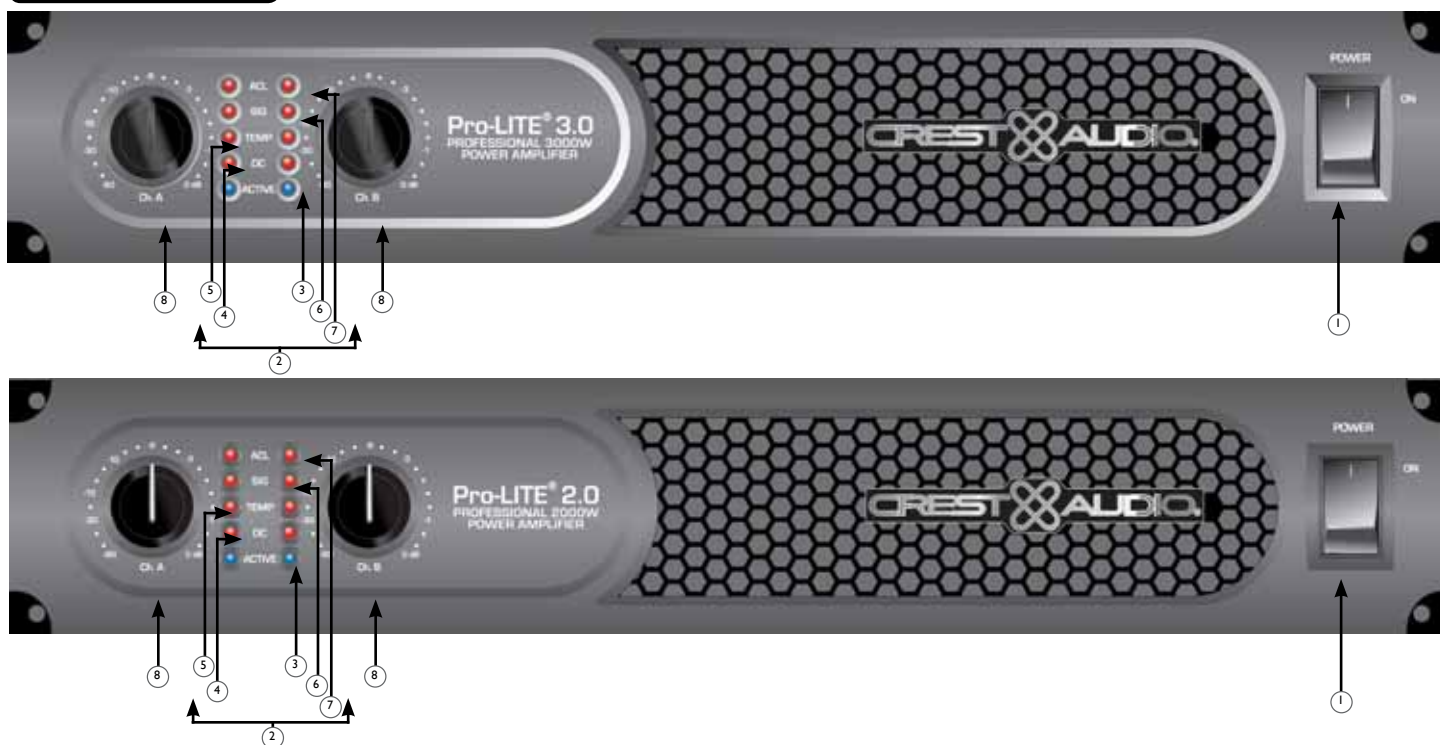
警告: 法令順守責任者により禁止されている本機の変更、改造があった場合、本機を操作するユーザの権利は無効になることがあります。

注: 本機は、検査の結果、FCC規格第15章に準じるクラス B デジタルデバイスの制限を順守していることが確認されています。この制限は、居住環境での有害な干渉を合理的に防ぐためのものです。本機は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射します。取り付け、使用に関する指示に従わない場合、これは無線通信に有害な干渉の生じる原因になります。

ただし、取り付けの状態によっては干渉が生じないという保証はありません。本機が無線やテレビの受信に対して有害な干渉の原因となるかどうかは、本機の電源をオン/オフすることによって確認できます。干渉をなくするために次の処置を取ることをおすすめします。

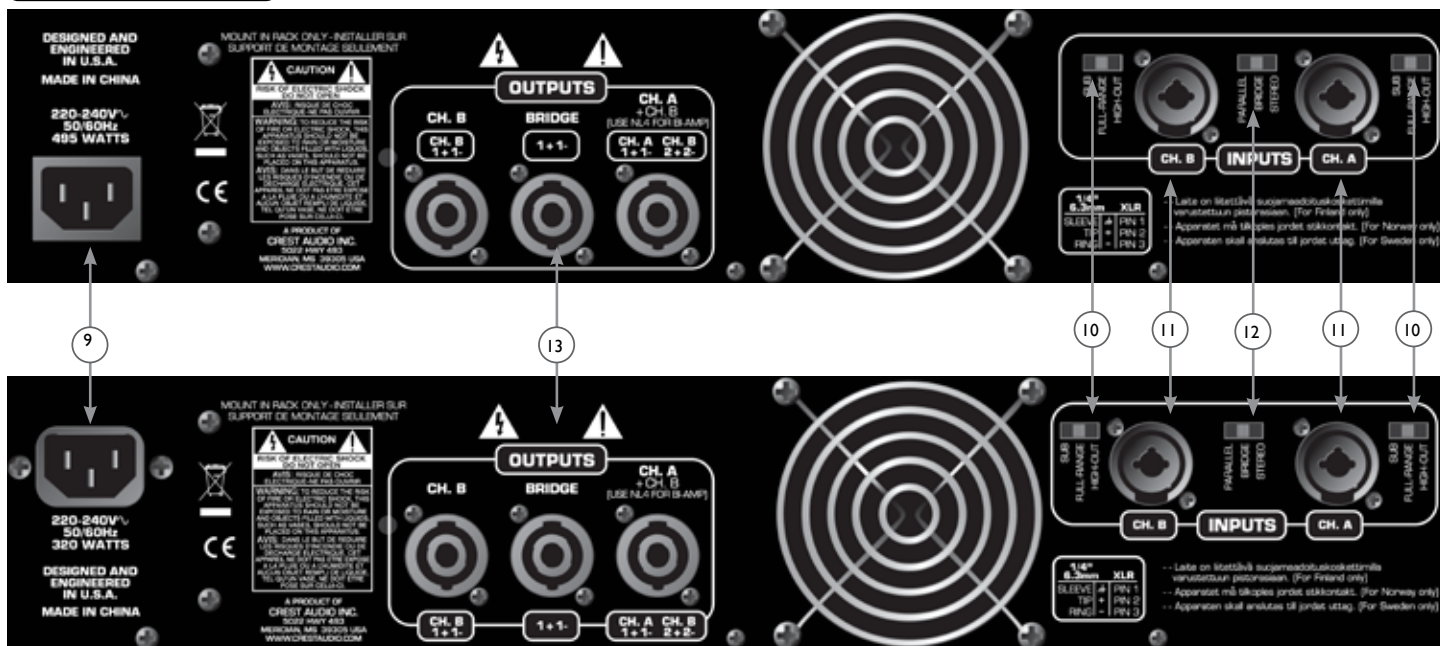
- 受信アンテナの向きを変える。
- 本機とレシーバの間隔を大きくする。
- 本機を、レシーバが接続されたものとは別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のある無線/TV技術者に相談する。

フロントパネル



- ① **AC 電源スイッチ**
アンプに電源を供給するスイッチです。
- ② **インジケータ**
Pro-LITE®アンプは、チャンネルごとに次の5つのフロントパネルLEDインジケータがあります。ACTIVE、DC、TEMP、SIGNAL、ACL™。これらのLEDインジケータは、各チャンネルの動作状態を知らせ、異常な状態があれば警告します。
- ③ **ACTIVE LED**
Active LEDはチャンネルが動作していることを示します。正常に動作しているときは点灯しています。Active LEDが消灯した場合、出力コネクタには信号がありません。
- ④ **DC LED**
Pro-LITE は、異常な動作条件を想定してアンプ保護機能を備えています。通常はパワーアンプの破損につながる条件下では、DC LEDが点灯し、アンプは状態を修復するため自動的に再起動を試みます。アンプが通常の動作状態に戻らない場合は、最寄りの指定サービスセンターにお問い合わせください。
- ⑤ **TEMP LED**
熱条件が不安定になる可能性は小さいのですが、その場合はアンプ保護機能が働き、問題のチャンネルをシャットダウンします。Temp LEDは、動作温度が安全なレベルに戻るまで点灯したままです。
- ⑥ **SIGNAL LED**
このLEDは、そのチャンネルの出力信号が約4ボルトRMS以上 (入力で0.1ボルト以上、減衰0 dB、標準電圧ゲインx40) のとき点灯します。この信号は、信号がアンプに達していてアンプにより増幅されていることを示します。
- ⑦ **ACL™ (Automatic Clip Limiting) LED**
チャンネルのACL™ LEDは、クリッピングが始まると点灯します。LEDが素早く断続的に点滅する場合、チャンネルはクリップしきい値にあります。安定した明るい点灯は、アンプがクリップを制限しているか、またはクリッピングの大きい波形がスピーカーに届くのを防いでいることを示します。初めて電源を入れるときはACL™ LED が点灯します。
- ⑧ **入力減衰器**
可能な場合は、減衰器を時計回りに回し切り、システムの最適ヘッドルームを保ちます。フロントパネルにある入力減衰器コントロール (1つはチャンネルA用、1つはチャンネルB用) は、どのモードでも、各アンプチャンネルに合わせてゲインを調整します。標準電圧ゲイン、入力感度については、本書終わりの仕様をご覧ください。

リアパネル



9 AC電源インレット:

本体ユニットにAC電源を供給するIEC電源コードのレセプタクルです。電源コードをこのコネクタに接続して電源を本体に供給します。本機の破損は、電源電圧が適合しないことによって起こる可能性があります。(本体ユニットの電源電圧表示を参照してください)。どのような機器でもグランドピンは決して取り外さないでください。グランドピンは安全のために取り付けられています。使用するコンセントにグランドピンがない場合は、接地アダプタを使用し、3番目のワイヤを正しく接地してください。感電や火災の危険をなくすため、アンプおよび関連するすべての機器が正しく接地されているか常に確認してください。

NOTE: FOR U.K. ONLY

As the colors of the wires in the mains lead of this apparatus may not correspond with the colored markings identifying the terminals in your plug, proceed as follows: (1) The wire which is colored green and yellow must be connected to the terminal which is marked by the letter E, or by the Earth symbol, or colored green or green and yellow. (2) The wire which is colored blue must be connected to the terminal which is marked with the letter N, or the color black. (3) The wire which is colored brown must be connected to the terminal which is marked with the letter L, or the color red.

10 クロスオーバーモードスイッチ

HIGH PASS

この位置は、対応チャンネルのHIGH PASSフィルタを有効にします。このLinkwitz-Rileyフィルタは、関連アンプチャンネルに送られる周波数を100 Hzを超える周波数に制限します。別に独立したサブウーファーキャビネットを使用する場合、この位置は、中間高周波スピーカーキャビネットを、HIGH PASSスイッチに関係するチャンネルに接続することを示します。

FULL RANGE

名前のおり、このスイッチのフルレンジ位置は全周波数がアンプに通ることを示します。通常は、フルレンジスピーカーのエンクロージャをアンプの出力に接続するとき使用します。

SUBWOOFER

この位置は、対応チャンネルのLOW PASSフィルタを有効にします。このLinkwitz-Rileyフィルタは、関連アンプチャンネルに送られる周波数を100 Hz未満の周波数に制限します。別に独立したサブウーファーキャビネットを使用する場合、この位置は、サブウーファースピーカーキャビネットをサブウーファースwitchに関係するチャンネルに接続することを示します。

11 入力接続

入力の接続には、アンプのリアパネルにある3ピンXLR (ピン2+) または6.3 mmプラグのコンビネーションコネクタを使用します。入力は一アクティブバランスです。入力の過負荷ポイントは、事実上すべての信号ソースの最大出力レベルを受けるのに十分な高さになっています。

12 チャンネルモードスイッチ

パラレル、ブリッジ、ステレオの各モードを切り替えます。

13 出力接続

全モデルで、チャンネルごとに4極ツイストロック出力コンビネーションコネクタが1つあります。

Pro-LITE™ DSP 2.0 / 3.0 パワーアンプ

Pro-LITE® アンプシリーズのDSPは、スピーカーのほとんどの用途に必要な共通信号処理機能を実行します。処理機能には、イコライゼーション、バンドパスフィルタリング、クロスオーバー設定、ディレイ、リミッティングなどがあります。



アンプの安全および人身の安全を守るため、本書をよくお読みください。

Pro-LITE™ DSP の特徴:

- ACL™ プロテクト
- 画期的Pro-LITE クラスDトポロジ
- デテントタイプ入力コントロール
- XLR 1/4" コンビネーション入力
- 1/4" コンビネーションまたは1/4" 4極ツイストロク出力コネクタ
- 軽量
- 各チャンネルに個別信号パススルー1/4"ジャック
- LED点灯
- DSPベーススピーカー管理システム
- 各チャンネル120 msディレイ
- 各チャンネル4バンドパラメトリックイコライゼーション
- セキュリティロック
- 調整可能4次 Linkwitz-Riley クロスオーバー
- 各チャンネルに調整可能4次ハイパスフィルター
- セットアップウィザード
- MAXX Bass®
- 各チャンネルにホーンEQ
- 青色バックライトLCD画面



警告: アンプに信号を送る前にDSP設定を確認してください。設定に誤りがある場合、スピーカーエンクロージャが破損する可能性があります。セットアップウィザードにより DSPを正しく設定できるように努めていますが、セットアップのどの段階でも、設定ミスがあればスピーカーエンクロージャが破損する可能性があります。ご質問などがありましたら、当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。



換気: 換気をよくするため、可燃物表面から12" (30cm以上)スペースを空けてください。本体内部の空気の流れを妨げないため、通気/換気口をふさがないでください。



警告: 法令順守責任者により禁止されている本機の変更、改造があった場合、本機を操作するユーザの権利は無効になることがあります。

注: 本機は、検査の結果、FCC規格第15章に準じるクラスBデジタルデバイスの制限を順守していることが確認されています。この制限は、居住環境での有害な干渉を合理的に防ぐためのものです。本機は、無線周波数エネルギーを生成、使用、放射します。取り付け、使用に関する指示に従わない場合、これは無線通信に有害な干渉の生じる原因になります。

ただし、取り付けの状態によっては干渉が生じないという保証はありません。本機が無線やテレビの受信に対して有害な干渉の原因となるかどうかは、本機の電源をオン/オフすることによって確認できます。干渉をなくすために次の処置を取ることをおすすめします。

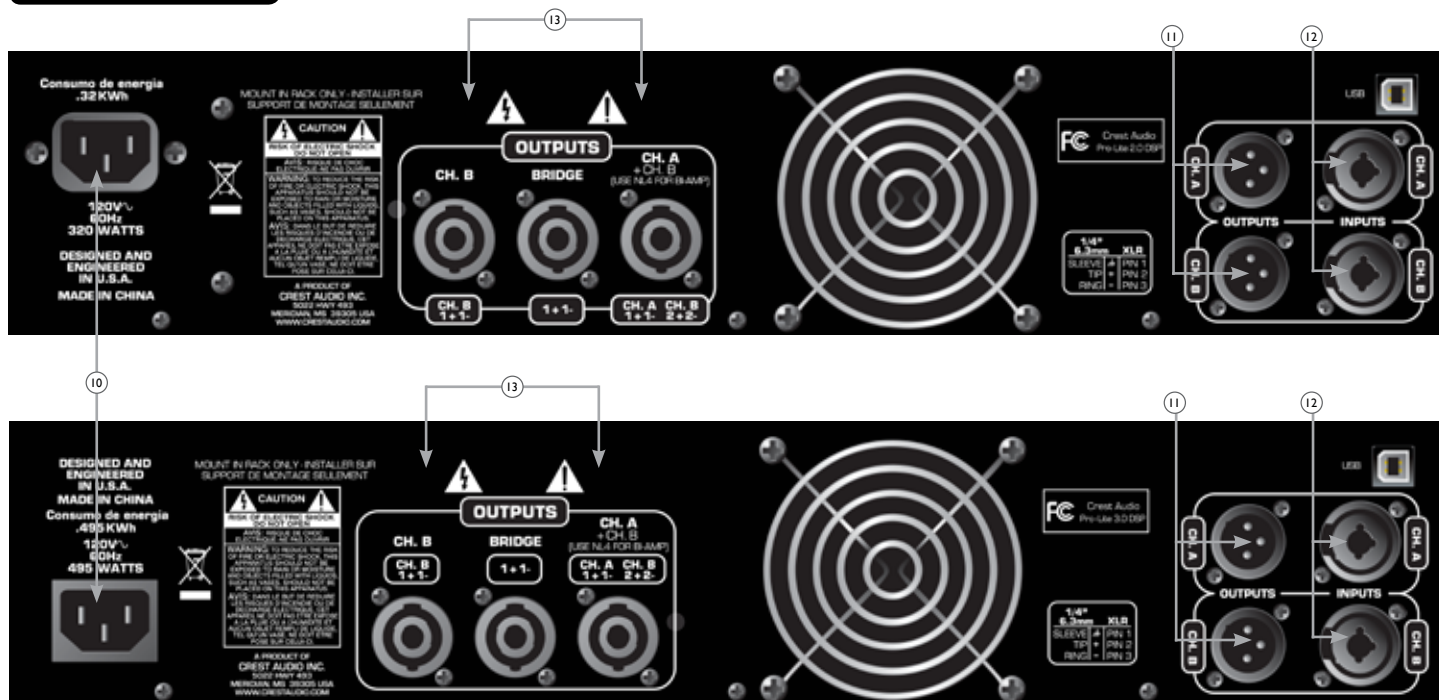
- 受信アンテナの向きを変える。
- 本機とレシーバの間隔を大きくする。
- 本機を、レシーバが接続されたものとは別の回路のコンセントに接続する。
- ディーラーまたは経験のある無線/TV技術者に相談する。

フロントパネル



- ① **AC 電源スイッチ**
アンプに電源を供給するスイッチです。
- ② **LCD画面**
青色バックライトLCD画面。
- ③ **インジケータ**
Pro-LITE®アンプは、チャンネルごとに次の5つのフロントパネルLEDインジケータがあります。ACTIVE、DC、TEMP、SIG、ACL™。これらのLEDインジケータは、各チャンネルの動作状態を知らせ、異常な状態があれば警告します。
- ④ **ACTIVE LED**
Active LEDはチャンネルが動作していることを示します。正常に動作しているときは点灯しています。Active LEDが消灯した場合、出力コネクタには信号がありません。
- ⑤ **DC LED**
Pro-LITE®は、異常な動作条件を想定してアンプ保護機能を備えています。通常はパワーアンプの破損につながる条件下では、DC LEDが点灯し、チャンネルは状態を修復するため自動的に再起動を試みます。アンプが通常の動作状態に戻らない場合は、最寄りの指定サービスセンターにお問い合わせください。
- ⑥ **TEMP LED**
熱条件が不安定になる可能性は小さいのですが、その場合はアンプ保護機能が働き、問題のチャンネルをシャットダウンします。Temp LEDは、動作温度が安全なレベルに戻るまで点灯したままです。
- ⑦ **SIGNAL LED**
このLEDは、そのチャンネルの出力信号が約4ボルトRMS以上（入力で0.1ボルト以上、減衰0 dB、標準電圧ゲインx40）のとき点灯します。この信号は、信号がアンプに達してアンプにより増幅されていることを示します。
- ⑧ **ACL™ LED**
チャンネルのACL™ LEDは、クリッピングが始まると点灯します。LED が素早く断続的に点滅する場合、チャンネルはクリップしきい値にあります。安定した明るい点灯は、アンプがクリップを制限しているか、またはクリッピングの大きい波形がスピーカーに届くのを防いでいることを示します。初めて電源を入れるときはACL LED が点灯します。
- ⑨ **入力減衰器**
可能な場合は、減衰器を時計回りに回し切り、システムの最適ヘッドルームを保ちます。フロントパネルにある入力減衰器コントロール（1つはチャンネルA用、1つはチャンネルB用）は、どのモードでも、各アンプチャンネルに合わせてゲインを調整します。標準電圧ゲイン、入力感度については、本書終わりの仕様をご覧ください。

リアパネル



10 AC電源インレット:

本体ユニットにAC電源を供給するIEC電源コードのレセプタクルです。電源コードをこのコネクタに接続して電源を本体に供給します。本機の破損は、電源電圧が適合しないことによって起こる可能性があります。(本体ユニットの電源電圧表示を参照してください)。

どのような機器でもグランドピンは決して取り外さないでください。グランドピンは安全のために取り付けられています。使用するコンセントにグランドピンがない場合は、接地アダプタを使用し、3番目のワイヤを正しく接地してください。感電や火災の危険をなくするため、アンプおよび関連するすべての機器が正しく接地されているか常に確認してください。

NOTE: FOR U.K. ONLY

As the colors of the wires in the mains lead of this apparatus may not correspond with the colored markings identifying the terminals in your plug, proceed as follows: (1) The wire which is colored green and yellow must be connected to the terminal which is marked by the letter E, or by the Earth symbol, or colored green or green and yellow. (2) The wire which is colored blue must be connected to the terminal which is marked with the letter N, or the color black. (3) The wire which is colored brown must be connected to the terminal which is marked with the letter L, or the color red.

11 スルー出力ジャック

このアンプや他のパワーアンプ入力へのパッチングのため、関連チャンネルからのパラレル出力信号を送るXLRジャックです。

12 入力接続

入力の接続には、アンプのリアパネルにある3ピンXLR (ピン2+) または6.3 mmプラグのコンビネーションコネクタを使用します。入力はアクティブバランスです。入力の過負荷ポイントは、事実上すべての信号ソースの最大出力レベルを受けるのに十分な高さになっています。

13 出力接続

全モデルで、チャンネルごとに4極ツイストロック出力コンビネーションコネクタが1つあります。チャンネルA出力は CHA 1+ Pos / 1- Neg、チャンネルB 2+ Pos / 2- Negで、シングル4導体スピーカーケーブルを使用します。

ナビゲーションの概要



Crest Audio画面が表示されればDSPプロセッサの調整を始めることができます。エンコーダーを押すとメインメニューが表示されます。

Crest Pro-LITE 画面

ディスプレイ右側のエンコーダーノブは、DSP 機能のナビゲーションや調整に使用します。ディスプレイ左側のチャンネルA、Bコントロールもエンコーダーですが、各チャンネルの入力ゲイン調整専用です。ディスプレイ右側のエンコーダーノブを回すとメインメニューの選択項目をスクロールできます。メインメニ

ューでは、編集するプロセスを選択できるほか、どのプロセスがアクティブか簡単にチェックすることもできます。メニューの選択項目は、左から右に、入力モード、ボリューム、クロスオーバーバンドパスフィルター、イコライゼーション、ディレイ、リミッティング、メモリ、ロックです。



入力モード



ボリューム



クロスオーバーバンドパスフィルター



イコライゼーション



ディレイ



リミッティング



メモリロック

ナビゲーションの概要(続き)

メインメニューからアイテムを選択するには、カーソルがアイテムをマークする位置にくるまでエンコーダーを回します。エンコーダーを押してその処理機能のサブメニュー調整画面までナビゲートします。処理機能のサブメニューに入ると、画面左上にカーソルが表示され、サブメニュー画面をスクロール

できます。パラメータを編集するには、エンコーダーを押してカーソルを画面上のパラメータに移動します。ここでエンコーダーを回してそのパラメータを調節します。別の画面にスクロールするには、エンコーダーを押してカーソルを画面左上に戻します。ここでサブメニュー画面をスクロールできます。



「削除と終了」画面

DSPをリセットして編集内容を削除するには、サブメニューから“Discard and Exit”を選択し、サブメニューに入ってから編集したものを削除します。



「保存と終了」画面

ほとんどのプロセスでサブメニューの最後の画面は“Save and Exit”ですこの画面でエンコーダーを押し、編集内容を保存し、メインメニューに戻ります。

注：調整したものは、Save and Exitが選択されてメインメニューに戻るまで保存されません。サブメニューで編集中にアンプをオフにすると、結果は“Discard and Exit「削除と終了」”と同じになります。

ボリューム

現在のゲイン設定はメインメニュー画面で常に使用できます。フロントパネルの専用エンコーダーはステレオモード、モノモードでA、Bチャンネルを調節するために使用します。入力モードが「ブリッジ」にセットされている場合、チャンネルBコントロールはアクティブでなく、ボリュームディスプレイは“na”を表示します。



ボリューム画面

モード

Pro-LITE® DSP 2.0、3.0には入力モードが3つ、Pro-LITE® DSP 5.0、7.5には2つあります。



「ステレオモード」画面

ステレオ：入力A、Bは出力A、Bに接続。



「モノモード」画面

モノ：入力A出力A、B両方をドライブ。

モード(続き)



「ブリッジモード」画面

ブリッジ：入力Aはブリッジモードでアンプをドライブ。

注：ブリッジモードを使用できるのは**Pro-LITE DSP 2.0、3.0**アンプだけです。



「保存と適用」画面

入力モードは、他の機能のサブメニューとは異なり、“Save and Apply”を選択してメインメニューに戻るまで変わりません。

クロスオーバーフィルター、バンドパスフィルター、極性

“XOVER”サブメニューでは、バンドパスフィルターを設定する方法について3つのオプションがあります。“BP Filters Independently”設定を選択すると、チャンネルA、Bのハイパスとローパスのフィルターが個別に設定されます。



設定：BP Filters Independently画面

両方のチャンネルが同じに設定されるステレオシステムでアンプを使用する場合、“Channel B=A”を選択すると、両方のチャンネルが一度に設定されます。チャンネルAのフィルターを設定するとチャンネルBも設定されます。



設定：BP Filters Channel B=A画面

アンプのチャンネル間でクロスオーバーをつくる場合、“X-over Freq A Lows B Highs”を選択すると、クロスオーバー周波数とフィルタータイプをコントロールIセットで設定できます。クロスオーバー画面、ハイパスとローパスの画面で設定します。



設定：X-Over Freq A Lows B Highs画面

クロスオーバーフィルター、バンドパスフィルター、極性(続き)

ハイパス、ローパスのフィルターに使用できるフィルタータイプは次のとおりです。

オフ	フィルターなし
BW-12 dB	Butterworthフィルター、オクターブスロープ当たり12 dB。コーナー周波数-3dB。 Butterworthフィルターの周波数応答はパスバンドでフラットです。
BW-18 dB	Butterworthフィルター、オクターブスロープ当たり18 dB。コーナー周波数-3dB。 Butterworthフィルターの周波数応答はパスバンドでフラットです。
BW-24 dB	Butterworthフィルター、オクターブスロープ当たり24 dB。コーナー周波数-3dB。 Butterworthフィルターの周波数応答はパスバンドでフラットです。
LR-24 dB	Linkwitz-Rileyフィルター、オクターブスロープ当たり24 dB。コーナー周波数-6dB。 LRフィルターの組み合わせによりコーナー周波数でフラットな応答になります。

通常は、すべてのスピーカーでハイパスフィルターを使用します。

出力極性

出力極性はいずれかのチャンネルで逆にできます。極性画面で「ノーマル」または「反転」を選択します。オクターブフィルター当たり12dBのクロスオーバーをつくる場合、クロスオーバー周波数で最適な位相関係を維持するため、高周波出力は逆にする必要があります。マルチウェイシステムの1チャンネルで極性を一時的に逆にすると、ディレイも設定しやすくなり、ドライバアライメントに有効です。ディレイを調整して、クロスオーバー周波数でキャンセルができます。設定が終了したら忘れずに極性をノーマルに戻します。

Main Menuに戻るにはDiscardとExitまたはSaveとExitを選択します。



「出力極性」画面

イコライゼーション

Pro-LITE DSPは5バンドのパラメトリックEQ、Waves® Maxx Bass®エンハンスメント、ホーンEQが各チャンネルにあります。

バイパス



EQバイパス画面

EQサブメニューの最初の画面はバイパス画面です。チャンネルは個別にバイパスするか、A&B両方を一緒にバイパスできます。カーソルがパラメータの下にくるまでエンコーダーを押し、エンコーダーを変えて回しバイパスモードを変えます。終了したら、他の画面にスクロールできるように、カーソルを押し左上に戻します。

チャンネルEQの設定

チャンネルA、BのEQは個別にか、またはチャンネルBがチャンネルAをフォローするように設定できます。

B=AモードのときチャンネルAのコントロールだけが表示されます。

MaxxBass®

The MaxxBass®エンハンスメントシステムは、各チャンネルのハイパスフィルターと連係し、スピーカーの対応周波数範囲にバスエネルギーを生成します。MaxxBass®の数値が大きいとそれだけバスのエンハンスが大きくなります。



MaxxBass 画面

パラメトリックEQ

各チャンネルに5バンドのパラメトリックEQがあります。周波数はオクターブ周波数1/12ステップで設定できます。フィルター帯域幅はオクターブで設定・表示されます。レベルは+/- 15 dB範囲で調整できます。エンコーダーを押し、調整するパラメータを選択します。終了したら、カーソルを左上に戻して他の画面にスクロールします。



パラメトリックEQ画面

ホーンEQ

ホーンEQは、時どき高周波ホーンに必要なオクターブ高周波ブースト当たり6dBです。この周波数コントロールでフィルターの低周波コーナーを設定します。

メインメニューに戻るにはDiscardとExitまたはSaveとExitを選択します。



ホーンEQ画面

ディレイ

ディレイは、スピーカー内のドライバを揃えるか、バルコニー下に取り付けるような補助スピーカーを遅らせるために使用できます。メインスピーカーを遅らせてドラムやベースギターと揃えるためにショートディレイも使用できます。ディレイはチャンネルごとにトータルで125 mSです。ドライバのアライメントでは5 mSのディレイを 41.67 μ Sステップで使用できます。システムアライメントでは120 mSを1 mSステップで使用できます。これらのディレイは個別に設定でき、これにより、システムアライメントを調整するときにドライバアライメントを維持できます。

ディレイサブメニューの最初の画面では、ディレイを個別に設定するかB=Aにするかを選択できます。この選択は1 mSステップのシステムディレイにのみ有効で、ドライバアライメントのディレイは個別設定のままです。Pro-LITEアンプは、等しいディレイ距離を、システムディレイではメートルとフィートで、ドライバディレイではセンチメートルとインチで表示します。



システム(mS)ディレイ画面



ドライバアライメント(μ S)画面

リミッター

Pro-LITE DSPには各チャンネルで使用できるリミッターがあります。これらのリミッターは信号レベルをパワーアンプステージの入力に制限します。制限しきい値は、ゼロから-1dB ステップで調整し、最大出力を下げます。ここで覚えておきたいのは、Pro-LITE DSPは、最大出力がライン電圧と負荷インピーダンスに依存するという点でほかのほとんどのアンプと同じように機能するという点です。負荷によって変わりますが、出力を下げる前にリミッターを最大3 dB下げる必要があるかもしれません。



リミッター画面

メモリ

Pro-LITEにはメモリ位置が4つあり、ここにその設定を保存し呼び出すことができます。各位置は6文字の名前でファイルを識別します。アクティブなプリセットの名前はメインメニューの“メモリ”画面にも表示されます。

設定の保存

メモリ操作サブメニューで“Save Settings”を選択します。

4つのプリセット位置の1つを選択します。

名前を編集するには、カーソルを回して文字を選択し、エンコーダーを押して次の位置に進みます。終了するまでこれを続けます。同じ名前をキープするには、エンコーダーを6回押し、名前編集画面をステップごとに進みます。

保存場所を選択し、プリセットに名前を付けた後、「はいいいえ」オプションで保存を完了します。



設定保存画面

プリセットの呼び出し

メモリ操作サブメニューで“Save Settings”を選択します。

4つのプリセット位置の1つを選択します。

名前を編集するには、カーソルを回して文字を選択し、エンコーダーを押して次の位置に進みます。

終了するまでこれを続けます。同じ名前をキープするには、エンコーダーを6回押し、名前編集画面をステップごとに進みます。

保存場所を選択し、プリセットに名前を付けた後、「はいいいえ」オプションで保存を完了します。



プリセット呼び出し画面

ロック

Pro-LITEのセキュリティロック機能では、選択したコントロールをロックして不正な調整を防ぐことができます。ロックをかけるとき、4桁のパスワードを設定する必要があります。サブメニューに入るときはこのパスワードを入力する必要があります。これにより編集機能に一時的にアクセスできます。メインメニューに戻るか本機をオフにすると再びロックがかかります。電源がオフのとき、編集はすべてロックされます。

注：パスワードは書きとめておいてください。パスワードをなくした場合はカスタマーサービスにお問い合わせください。

Pro-LITE アンプには次の3つのロックモードがあります。

オフ

設定は、パスワードを入力することなくすべて調整できます。

ボリューム以外すべて

ボリュームを除き、すべての編集サブメニューでパスワードを入力する必要があります。

ボリュームを含めてすべて

ボリュームを含め、すべての編集サブメニューでパスワードを入力する必要があります。

Crest® Pro-LITE® 3.0 仕様

定格出力ブリッジ 4 オーム	3640 ワット20ms 反復バースト / 3000 ワット1% THD @ 1kHz。
定格出力ブリッジ 8 オーム	2000 ワット20ms 反復バースト / 1550 ワット0.15% THD @ 1kHz。
定格出力 2ch x 2 オーム	1820 ワット20ms 反復バースト / 1500 ワット1% THD 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 4 オーム	1000 ワット20ms 反復バースト / 900 ワット1% THD / 830 ワット0.15% THD、 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 8 オーム	540 ワット20ms 反復バースト / 500 ワット1% THD / 450 ワット0.15% THD、 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
最小負荷インピーダンス	2 オーム
最大RMS 電圧変動	71 ボルト
周波数応答	20Hz - 28kHz; +0dB, -3.0dB / 1 ワット。
20Hz - 20kHz 2ch x 2 オーム	<0.5% @ 1350 ワット / 20Hz - 1380 ワットに増加 / 20kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 4 オーム	<0.15% @ 800 ワット / 20Hz - 850 ワットに増加 / 20kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 8 オーム	<0.15% @ 450 ワット / 20Hz - 500 ワットに増加 / 20kHz、両チャンネルドライブ。
入力CMRR	> -76dB @ 1 kHz
電圧ゲイン	x 75 (+37dB)
クロスオーバー	100 Hz 切り替え、二次ハイパス、3次ローパス、チャンネルごと。
クロストーク	> -70dB @ 1kHz @ 250 ワット @ 8 オーム。
ハム、ノイズ	> -100 dB, "A" ウェイト、定格出力基準 @ 4 オーム。
スルーレート	> 12V/ μ s
減衰係数 (8 オーム)	> 255:1 @ 20Hz - 1kHz @ 8 オーム。
入力感度	0.740 ボルト +/- 3% / 1kHz、4 オーム定格出力、0.710 ボルト +/- 3% / 1kHz、 2 オーム定格出力
入力インピーダンス	15k オーム平衡、7.5k オーム非平衡。
電流引き込み @ 1/8 出力 VA (ワット)	960 (540) @ 2 オーム、620 (320) @ 4 オーム、400 (190) @ 8 オーム
電流引き込み @ 1/3 出力 VA (ワット)	2070 (1310) @ 2 オーム、1220 (700) @ 4 オーム、740 (400) @ 8 オーム
アイドル消費電力	140VA, 60 ワット。
冷却	温度は速度可変 80 mm DC ファンによる
コントロール	フロントパネル減衰器 (2)、HPF、ノーマル、LPF のクロスオーバー選択スイッチ
インジケータLED	各チャンネルに5つのLEDインジケータ: ACTIVE、DC、TEMP、SIG、ACL™。
プロテクト	熱、DC、可聴周波数以下、不当な負荷、電圧不足、過電圧
コネクタ	入力: デュアルコンビ 1/4" XLR、出力: 2チャンネル+ブリッジ用4ピンツイストロックコネクタ x 3
構造	18 ga. 亜鉛メッキ鋼
寸法	3.5"x19" x 10.5" フロントパネル背面 + ハンドル用0.6"
正味重量	5.54 kg (12.2 lbs.*)
総重量	6.30 kg (13.9 lbs.*)

BW による定格出力: 20 Hz - 22 kHz。電力測定 @ 120 VAC、240VAC。

2オーム定常正弦波出力はブレーカーで時間制限。

*正味重量は電源コードを含みません。

Crest® Pro-LITE® 2.0 仕様

定格出力ブリッジ 4 オーム	2100 ワット20ms 反復バースト / 1950 ワット @ 1kHz 1% T.H.D.。
定格出力 2ch x 2 オーム	1100 ワット20ms 反復バースト / 900 ワット1% THD 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 4 オーム	600 ワット20ms 反復バースト / 570 ワット1% THD / 530 ワット0.15% THD、 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 8 オーム	370 ワット20ms 反復バースト / 325 ワット1% THD / 300 ワット0.15% THD、 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
最小負荷インピーダンス	2 オーム
最大RMS電圧変動	56 ボルト
周波数応答	10Hz - 30kHz; +/- 3 dB at 1 ワット、8 オーム。
20Hz - 20kHz 2ch x 2 オーム	<0.25% @ 800 ワット 20Hz~4kHz - 760 ワットに増加 @ 20kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 4 オーム	<0.15% @ 540 ワット 20Hz~20kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 8 オーム	<0.15% @ 300 ワット 20Hz~20kHz、両チャンネルドライブ。
入力CMRR	> - 69 dB @ 1 kHz。
電圧ゲイン	x 60 (+35 dB)
クロスオーバー	100Hz 切り替え、二次ハイパス、3次ローパス、チャンネルごと。
クロストーク	> -70dB @ 1kHz @ 250 ワット @ 8 オーム。
ハム、ノイズ	> -100 dB、“A” ウェイト、定格出力基準 @ 4 オーム。
スルーレート	> 12V/ μ s
減衰係数 (8 オーム)	> 170:1 @ 20Hz - 1kHz @ 8 オーム。
入力感度	.775 ボルト +/- 3% / 1kHz 4 オーム定格出力、.35 ボルト +/- 3% / 1kHz 2 オーム定格出力。
入力インピーダンス	15k オーム平衡、7.5k オーム非平衡。
電流引き込み @ 1/8 出力 VA (ワット)	540 (315) @ 2 オーム、370 (185) @ 4 オーム、240 (115) @ 8 オーム。
電流引き込み @ 1/3 出力 VA (ワット)	1250 (760) @ 2 オーム、750 (425) @ 4 オーム、460 (240) @ 8 オーム。
アイドル消費電力	90VA、40 ワット。
冷却	温度は速度可変 80 mm DC ファンによる。
コントロール	フロントパネル減衰器 (2)、HPF、ノーマル、LPF のクロスオーバー選択スイッチ
インジケータLED	各チャンネルに5つのLEDインジケータ: ACTIVE、DC、TEMP、SIG、ACL™。
プロテクト	熱、DC、可聴周波数以下、不当な負荷、電圧不足、過電圧。
コネクタ	入力: デュアルコンビ 1/4" XLR、出力: 2チャンネル+ブリッジ用4ピンツイストロックコネ クタ x 3
構造	18 ga. 亜鉛メッキ鋼
寸法	3.5"x19" x 10.5" フロントパネル背面 + ハンドル用0.6"
正味重量	4.94 kg (10.90 lbs.*)
総重量	6.02 kg (13.3 lbs.*)

BW による定格出力: 20 Hz - 22 kHz。電力測定 @ 120 VAC、240VAC。

2オーム定常正弦波出力はブレーカーで時間制限。

*正味重量は電源コードを含みません。

Crest® Pro-LITE® 3.0 DSP 仕様

定格出力ブリッジ 4 オーム	3650 ワット 20ms 反復バースト / 2960 ワット 1% THD @ 1kHz。
定格出力ブリッジ 8 オーム	2050 ワット 20ms 反復バースト / 1850 ワット 1% THD / 1680 ワット 0.15% THD @ 1kHz。
定格出力 2ch x 2 オーム	1825 ワット 20ms 反復バースト / 1480 ワット 1% THD 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 4 オーム	1025 ワット 20ms 反復バースト / 925 ワット 1% THD / 840 ワット 0.15% THD、両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 8 オーム	550 ワット 20ms 反復バースト / 500 ワット 1% THD / 450 ワット 0.15% THD、両チャンネルドライブ @ 1kHz。
最小負荷インピーダンス	2 オーム
最大RMS電圧変動	70 ボルト
周波数応答	20 Hz - 22 kHz; +/- .05dB @ 4 オーム
20Hz - 20kHz 2ch x 2 オーム	<0.15% @ 1,300 ワット 20 Hz~3 kHz - 1,000 ワットに増加 @ 20 kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 4 オーム	<0.15% @ 800 ワット 20 Hz~20 kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 8 オーム	<0.15% @ 420 ワット 20 Hz~20 kHz、両チャンネルドライブ。
入力CMRR	> - 76 dB @ 1 kHz。
電圧ゲイン	x 37.75 (+31.5 dB)
クロスオーバー	チャンネルごとにハイパス、ローパフフィルター調整可。フィルタータイプ: 12dB/oct 二次、18dB/oct 三次、24dB/oct 四次 Butterworth、24dB/oct 四次 Linkwitz -Riley。
クロストーク	> -60 dB @ 1 kHz @ 100 ワット @ 4 オーム。
ハム、ノイズ	> -93 dB、“A” ウェイト、定格出力基準 @ 4 オーム。
スルーレート	> 12V/ μ s
減衰係数 (8 オーム)	> 255:1 @ 20 Hz - 1 kHz @ 8 オーム
入力感度	1.54 ボルト +/- 3% / 1kHz、4 オーム定格出力、1.47 ボルト +/- 3% / 1 kHz、2 オーム定格出力
入力インピーダンス	12 キロオーム平衡、6 キロオーム非平衡。
電流引き込み @ 1/8 VA (ワット)	960 (535) @ 2 オーム、615 (315) @ 4 オーム、400 (200) @ 8 オーム
電流引き込み @ 1/3 VA (ワット)	2065 (1360) @ 2 オーム、1215 (735) @ 4 オーム、740 (420) @ 8 オーム
アイドル消費電力	160VA, 75 ワット。
冷却	温度は速度可変 80 mm DC ファンによる。
コントロール	フロントパネルデント減衰器 (2)、押しボタンナビゲーションエンコーダー (入力モードでLCD画面のメニューをナビゲート)、パラメトリック EQ、クロスオーバー HPF、モード、LPFなど。
インジケータLED	各チャンネルに5つのLEDインジケータ: ACTIVE、DC、TEMP、SIG、ACL™。
プロテクト	熱、DC、可聴周波数以下、不当な負荷、電圧不足、過電圧
コネクタ	入力: デュアルコンビ 1/4" XLR、出力: 2チャンネル+ブリッジ用4ピンツイストロックコネクタ x 3
構造	18 ga. 亜鉛メッキ鋼
寸法	3.5"x19" x 10.5" フロントパネル背面 + ハンドル用0.6"
正味重量	5.62 kg (12.4 lbs.*)
総重量	6.80 kg (15.0 lbs.*)
保証	5年

BW による定格出力: <10 Hz - 22 kHz. 電力測定 @ 120 VAC, 240VAC。

2オーム定常正弦波出力はブレーカーとAC限度で時間制限。

*正味重量は電源コードを含みません。

Crest® Pro-LITE® 2.0 DSP 仕様

定格出力ブリッジ 4 オーム	2100 ワット 20ms 反復バースト / 1950 ワット @ 1kHz 1% T.H.D.
定格出力 2ch x 2 オーム	1100 ワット 20ms 反復バースト / 900 ワット 1% THD 両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 4 オーム	600 ワット 20ms 反復バースト / 570 ワット 1% THD / 530 ワット 0.15% THD、両チャンネルドライブ @ 1kHz。
定格出力 2ch x 8 オーム	370 ワット 20ms 反復バースト / 325 ワット 1% THD / 300 ワット 0.15% THD、両チャンネルドライブ @ 1kHz。
最小負荷インピーダンス	2 オーム
最大RMS電圧変動	56 ボルト
周波数応答	10Hz - 30kHz; +/- 3 dB / 1 ワット、8 オーム。
20Hz - 20kHz 2ch x 2 オーム	<0.25% @ 800 ワット 20Hz~4kHz - 760 ワットに増加 @ 20kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 4 オーム	<0.15% @ 540 ワット 20Hz~20kHz、両チャンネルドライブ。
20Hz - 20kHz 2ch x 8 オーム	<0.15% @ 300 ワット 20Hz~20kHz、両チャンネルドライブ。
入力CMRR	> - 69 dB @ 1 kHz。
電圧ゲイン	x 30 (+29.5 dB)
クロスオーバー	チャンネルごとにハイパス、ローパスフィルター調整可。フィルタータイプ: 12dB/oct 二次、18dB/oct 三次、24dB/oct 四次 Butterworth、24dB/oct 四次 Linkwitz -Riley。
クロストーク	> -70dB @ 1kHz @ 250 ワット @ 8 オーム。
ハム、ノイズ	> -100 dB、“A” ウェイト、定格出力基準 @ 4 オーム。
スルーレート	> 12V/ μ s
減衰係数 (8 オーム)	170:1 @ 20Hz - 1kHz @ 8 オーム。
入力感度	1.53 ボルト +/- 3% / 1kHz 4 オーム定格出力、1.4 ボルト +/- 3% / 1 kHz、2 オーム定格出力
入力インピーダンス	12 キロオーム平衡、6 キロオーム非平衡。
電流引き込み @ 1/8 VA(ワット)	540 (315) @ 2 オーム、370 (185) @ 4 オーム、240 (115) @ 8 オーム。
電流引き込み @ 1/3 VA(ワット)	1250 (760) @ 2 オーム、750 (425) @ 4 オーム、460 (240) @ 8 オーム。
アイドル消費電力	90VA、40 ワット。
冷却	温度は速度可変 80 mm DC ファンによる。
コントロール	フロントパネル減衰器 (2)、HPF、ノーマル、LPF のクロスオーバー選択スイッチ
インジケータLED	各チャンネルに5つのLEDインジケータ: ACTIVE、DC、TEMP、SIG、ACL™。
プロテクト	熱、DC、可聴周波数以下、不当な負荷、電圧不足、過電圧
コネクタ	入力: デュアルコンビ 1/4" XLR、出力: 2チャンネル+ブリッジ用4ピンツイストロックコネクタ x 3
構造	18 ga. 亜鉛メッキ鋼
寸法	3.5"x19" x 10.5" フロントパネル背面 + ハンドル用0.6"
正味重量	4.94 kg (10.90 lbs.*)
総重量	6.02 kg (13.3 lbs.*)

BW による定格出力:<10 Hz - 22 kHz.電力測定 @ 120 VAC、240VAC。

2オーム定常正弦波出力はブレーカーとAC限度で時間制限。

*正味重量は電源コードを含みません。



Crest Audio • 5022 Hwy. 493 North • Meridian, MS 39305
Phone: (601) 486-2000 • Fax: (601) 486-1380 • www.crestaudio.com